

洪水浸水想定区域図（計画規模：100年に1回程度の確率で発生）

洪水浸水想定区域図（計画規模）とは、河川整備において基本となる降雨（計画規模）等による浸水区域、浸水深のことをいいます。

- (1) 洪水浸水想定区域図（計画規模）は、日高川水系日高川の洪水予報区間及び支川の西川、江川（以下、日高川等という）について、水防法の規定により計画降雨による浸水が想定される区域、浸水した場合に想定される水深を表示した図面です。
- (2) この洪水浸水想定区域等は、公表時点の日高川等の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、洪水防御に関する計画の基本となる年超過確率1/100（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/100（1%））の降雨に伴う洪水により日高川等が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。
- (3) なお、このシミュレーションの実施にあたっては、(1)に示す支川以外の氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨による氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この浸水が想定される区域以外の区域においても浸水が発生する場合や、想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。
- (4) 算出の前提となる計画降雨 **日高川流域の2日間総雨量466mm**

